

尾花沢市ゼロカーボンシティ宣言

～2050年 二酸化炭素排出実質ゼロに向けて～

近年、地球温暖化が原因と見られる気候変動の影響から、猛暑や豪雨災害などが激甚化しております。尾花沢市でも日常の生活を脅かされる事態が出始めています。今、まさに気候危機と言うべき状況ですので、その対策は急がなければなりません。

2015年に合意されたパリ協定では、「産業革命からの平均気温上昇の幅を2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する」との目標が国際的に共有されています。さらには2018年のIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では、「2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要」と公表されています。また、2021年の気候変動サミットでは、国内での目標として2030年までに46%削減を目指すと表明されました。

尾花沢市でも、第7次総合振興計画に基づいて、家庭や企業の協力をいただき、再生可能エネルギーの活用とエネルギーの地産地消に取り組みます。2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて、取り組みを進めることをここに宣言します。



令和3年5月6日

尾花沢市長 菅根光雄